

教科	国語		科目	古典 A	単位数	2
学年	2年		類型	流通経済科・情報ビジネス科B類型		
教科書（出版社）	古典A（三省堂）					
副教材（出版社）						
授業の概要	<p>1 古文、漢文の朗読や暗唱をしたり、展開や心情を読み取りながら話のおもしろさを味わったりする。</p> <p>2 古文、漢文や古典に関連する文章を読んで、現代を生きる我々と古典との関わりについて話し合ったり、意見をまとめたりする。</p>					
授業の目標	古文、漢文を読むことによって古典に触れる楽しさを味わい、我が国の伝統と文化に対する理解を深め、生涯にわたって古典に親しむ態度を育てる。					
年間 学習 計画	学習内容（単元・項目）			学習目標		
	1 学期	<p>1 インTRODクション ・恵心僧都の母</p> <p>2 インTRODクション ・朝三暮四</p> <p>3 宇治拾遺物語 ・百鬼夜行</p>		<p>・古文に描かれた人々のものの見方や感じ方に関心を持つ。</p> <p>・歴史的仮名遣いなどに注意しながら音読する。</p> <p>・漢文訓読の決まりについて理解し、それらに注意して音読する。</p> <p>・自分の生活に関わりの深い故事成語についてまとめる。</p> <p>・話の展開に沿って、登場人物の心情を読み取る。</p> <p>・説話の世界観や、登場する人物の特異性について理解する。</p>		
	2 学期	<p>1 宇治拾遺物語 ・袴垂と保昌</p> <p>2 論語 ・孔子の人となり ・孔子と政治</p> <p>3 老子 ・大道廢れて仁義有り</p> <p>4 莊子 ・混沌</p> <p>5 今昔物語集 ・姥母捨山</p> <p>6 漢詩 ・絶句</p>		<p>・話の展開を順を追って理解し、理解したことを説明したり、それについて話し合ったりする。</p> <p>・孔子の考えに興味を持ち、現在に照らし合わせて考える。</p> <p>・老子の考えを示す場面や比喻を正確に読み取り、その思想を追究する。</p> <p>・莊子が主張する思想・考え方を理解し、老子との共通性、儒家との相違性について考える。</p> <p>・説話の持つ教訓の意味について考える。</p> <p>・登場人物の心情の変化を順を追って理解し、情景や心の動きを説明する。</p> <p>・描かれた情景、作者の心情をイメージしながら音読し、そのリズムのよさを味わう。</p>		
	3 学期	<p>1 十訓抄 ・行成と実方</p> <p>2 三国志 ・三たび往きて、乃ち見る</p> <p>3 漢詩 ・律詩</p>		<p>・登場人物の様子や態度から、その性格や心情をとらえる。</p> <p>・文章表現の特徴を理解し、一部を現代語に直す。</p> <p>・登場人物の立場や関係を理解し、場面状況と登場人物の心情を自分の言葉で説明する。</p> <p>・描かれた情景、作者の心情をイメージしながら音読し、そのリズムのよさを味わう。</p>		
観点別 評価	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解	
	<p>古典を読む楽しさを味わい、古典に親しむとともに、我が国の伝統と文化に対する関心を深めようしている。</p>			<p>まとまりのある古典を読み、古典に表れた思想や感情を捉え、自分の考えを深め、発展させている。</p>	<p>伝統的な言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、知識を身に付けている。</p>	
備考	3つの観点に基づき、学期ごとに100点法で評価し、学年末には各学期の評価を平均し総合的に評価する。					

教科	理科	科目	物理基礎	単位数	2
学年	2年	類型	情報ビジネス科		
教科書(出版社)	改訂版 物理基礎(数研出版)				
副教材(出版社)	物理基礎問題集(愛媛県高等学校教育研究会理科部会)				
授業の概要	日常に起こる物体の運動や様々な物理現象を観察、実験などを通して探求し、その基本的な概念や法則を理解し、運動とエネルギーについて、物理現象とエネルギーについて基礎的な見方や考え方を身に付ける。				
授業の目標	日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探求する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。				
年間 学習 計画	学習内容(単元・項目)		学習目標		
	1 学期	第1編 運動とエネルギー 1章 運動の表し方 2章 運動の法則 3章 仕事と力学的エネルギー 第2編 熱 1章 熱とエネルギー	<ul style="list-style-type: none"> 身近な物理現象について、物理量の測定と表し方、分析の手法を理解する。 直線運動と加速度について理解する。 運動の三法則を理解する。 物体に働く力と運動の関係について理解する。 力学的エネルギー保存の法則を仕事と関連付けて理解する。 熱と温度について、熱運動という視点から理解する。 熱の移動及び熱と仕事の変換について理解する。 		
	2 学期	第3編 波 1章 波の性質 2章 音 第4編 電気 1章 物質と電気抵抗 2章 交流と電磁波	<ul style="list-style-type: none"> 波の性質について、直線状に伝わる場合を中心に理解する。 気柱の共鳴、弦の振動及び音波の性質を理解する。 物質によって抵抗率が異なることを理解する。 交流の発生、送電及び利用について、基本的な仕組みを理解する。 		
	3 学期	第5編 物理学と社会 1章 エネルギーとその利用 2章 物理学が拓く世界	<ul style="list-style-type: none"> 人類が利用可能な水力、化石燃料、原子力、太陽光などを源とするエネルギーの特性や利用などについて、物理学的な視点から理解する。 「物理基礎」で学んだ事柄が、日常生活やそれを支えている科学技術と結びついていることを理解する。 		
観点別 評価	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解	
	・身近な自然事象について興味と関心をもちながら、積極的な態度で授業に取り組むことができる。	・簡単な仮説をあげ、その処理実験と対照実験を考えることができる。	・実験計画に沿った観察・実験の実行と結果の整理を行う。 ・実験器具の操作やデータ処理を適切に行うことができる。	・学習内容について理解を深めることができる。 ・観察実験で得られたデータをもとにして関連する知識を整理できる。	
備考	4つの観点に基づき、学期ごとに定期考査までの学習のまとめりに評価し、100点法で評価する。また、学年末の評価は、各学期の評価を平均し総合的に評価する。				

教科	国語	科目	古典A	単位数	3
学年	2年	類型	情報ビジネス科A類型		
教科書(出版社)	古典A(三省堂)				
副教材(出版社)					
授業の概要	1 古文、漢文の朗読や暗唱をしたり、話のおもしろさを味わったりする。 2 古文、漢文や古典に関連する文章を読んで、現代を生きる我々と古典との関わりについて話し合ったり、意見をまとめたりする。				
授業の目標	古文、漢文を読むことによって古典に触れる楽しさを味わい、我が国の伝統と文化に対する理解を深め、生涯にわたって古典に親しむ態度を育てる。				
年間 学習 計画	学習内容(単元・項目)		学習目標		
	1 学期	1 イン트로ダクション ・恵心僧都の母 2 イン트로ダクション ・朝三暮四 3 宇治拾遺物語 ・百鬼夜行 ・絵仏師の執心 4 イン트로ダクション ・杞憂 5 漢文のとびら①	・古文に描かれた人々のものの見方や感じ方に関心を持つ。 ・歴史的仮名遣いなどに注意しながら音読する。 ・漢文訓読の決まりについて理解し、それらに注意して音読する。 ・自分の生活に関わりの深い故事成語についてまとめる。 ・話の展開に沿って、登場人物の心情を読み取る。 ・説話の世界観や、登場する人物の特異性について理解する。 ・故事成語に興味を持ち、実際に使ったり、調べたりする。		
	2 学期	1 宇治拾遺物語 ・袴垂と保昌 ・後の千金 2 論語 ・孔子の人となり 他 3 老子 ・大道廢れて、仁義あり 他 4 今昔物語集 ・姥母捨山 ・武士の祭り見物 5 古文のとびら① 6 漢詩 ・絶句	・話の展開を順を追って理解し、理解したことを説明したり、それについて話し合ったりする。 ・孔子の考えに興味を持ち、現在に照らし合わせて考える。 ・老子の考えを示す場面や比喻を正確に読み取り、その思想を追究する。 ・説話の持つ教訓の意味について考える。 ・登場人物の心情の変化を順を追って理解し、そのおもしろさを説明する。 ・古典を読み比べ、その違いやおもしろさについて意見をまとめる。 ・描かれた情景、作者の心情をイメージしながら音読し、そのリズムのよさを味わう。		
	3 学期	1 十訓抄 ・行成と実方 2 三国志 ・三たび往きて、乃ち見る 3 漢詩 ・律詩	・登場人物の様子や態度から、その性格や心情をとらえる。 ・文章表現の特徴を理解し、一部を現代語に直す。 ・登場人物の立場や関係を理解し、場面状況と登場人物の心情を自分の言葉で説明する。 ・描かれた情景、作者の心情をイメージしながら音読し、そのリズムのよさを味わう。		
観点別評価	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
	古典を読む楽しさを味わい、古典に親しむとともに、我が国の伝統と文化に対する関心を深めようとしている。			まとまりのある古典を読み、古典に表れた思想や感情を捉え、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、知識を身に付けている。
備考	3つの観点に基づき、学期ごとに100点法で評価し、学年末には各学期の評価を平均し総合的に評価する。				

教科	国語		科目	現代文 B	単位数	2
学年	2年		類型	地域ビジネス科・商業科		
教科書(出版社)	新編現代文 B (東京書籍)					
副教材(出版社)	新編現代文 B 学習課題ノート (東京書籍)					
授業の概要	教材の読解を通して、基礎的な理解力や要旨を把握する力を養う。また、グループ学習などを通して多様な思考に触れ、主体的な考察を行うとともに、自身の思考を表現したり発表したりする。					
授業の目標	近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。様々なジャンルの文章を的確に理解する能力を養成し、基礎的・基本的な知識・技能を習得し、豊かな感受性を養う。					
年間 学習 計画	学習内容(単元・項目)			学習目標		
	1 学期	1 随想 ・さくらさくらさくら 2 詩歌 ・I was born 3 評論 1 ・生命とは何か 4 詩歌 ・信濃路	<ul style="list-style-type: none"> 桜の花に対する日本人独自の感性と筆者の思いを理解する。 散文詩を読み、蜻蛉のイメージに託された生命への思いを深く味わう。 論の展開に注意して筆者の考えを読み取り、生命の特徴や不思議について理解する。 短歌の修辞技巧を理解し、それぞれの短歌に詠まれた情景や作者の思いを読み取る。 			
	2 学期	1 小説 1 ・みどりのゆび 2 評論 2 ・思考の肺活量 3 働くよろこび ・分からないからおもしろい	<ul style="list-style-type: none"> 小説における表現の工夫を理解し、場面展開を的確に読み取る。 人物関係や、主人公の心情を読み取り、自分の感想を文章にまとめる。 論理の展開を正確に読み取り、思考のあるべき姿について理解する。 抽象的な概念を表す語句を理解する。 筆者の体験をもとにした、労働に対する考え方を読み取る。 「働くこと」についての自分の考えをまとめる。 			
	3 学期	1 小説 3 ・こころ	<ul style="list-style-type: none"> 日本近代文学の代表的な作品を読み、現代に通じる問題意識を読み取ることで、作品主題の普遍性を理解する。 			
観点別 評価	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解	
	国語を理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重して、その向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり、的確に聞き取ったりして、自分の考えをまとめ、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。	
備考	5つの観点に基づき、学期ごとに100点法で評価し、学年末には各学期の評価を平均し総合的に評価する。					

教科	国語	科目	古典 B	単位数	2
学年	2年	類型	地域ビジネス科		
教科書(出版社)	高等学校標準古典B 改訂版(第一学習社)				
副教材(出版社)	高等学校 標準古典B 学習課題集 改訂版(第一学習社)				
授業の概要	1 古文、漢文や古典に関連する文章を読んで、現代を生きる我々と古典との関わりについて話し合ったり、意見をまとめたりする。 2 伝統的な言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、基礎知識の定着を図る。				
授業の目標	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広げ、古典についての理解や関心を深めることによって、人生を豊かにする態度を育てる。				
年間 学習 計画	学習内容(単元・項目)		学習目標		
	1 学期	1 説話 古今著聞集 ・小式部内侍が大江山の歌のこと 2 故事・寓話 ・画竜点睛 朝三暮四 3 物語(一) 竹取物語 ・かぐや姫の昇天 4 古代の史話 ・褒姒大笑 5 随筆(一) 徒然草 ・相模守時頼の母は	・話の展開を理解し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・漢文訓読上のきまりを正しく理解し、繰り返し音読する。 ・故事成語の由来を正しく理解する。 ・敬語表現を理解し、作り物語の原点について考える。 ・作り物語の世界に触れ、想像しながら読み味わう。 ・古代中国の為政者の理想像について考える。 ・話題となる人物に対する作者の評価がどのようなものか読み取る。		
	2 学期	1 随筆(二) 枕草子 ・すさまじきもの ・中納言参り給ひて 2 項羽と劉邦 ・剣の舞 ・樊噲、頭髮上指す 3 日記 更級日記 ・門出 源氏の五十余巻 4 項羽と劉邦 ・四面楚歌 時利あらず 項王の最期 5 諸家の思想 ・論語 孟子 韓非子	・類集的章段や日記的章段に触れ、清少納言独自のものの感じ方、考え方について考察する。 ・敬語の用法に注意し、登場人物の関係を正確につかむ。 ・長文読解の力を身に付け、登場人物の心理を的確に読み取る。 ・語句の意味を正しくとらえて口語訳し、文脈を理解する。 ・作者の心理と行動を読み取る。 ・登場人物の動きと心理を的確に読み取る。 ・歴史を動かす力は何であるかを考える。 ・儒家、法家の思想に触れ、その概要を理解する。		
	3 学期	1 不思議な世界 ・新死鬼 2 物語(二) 平家物語 ・能登殿の最期 3 和歌 ・万葉集 ・古今和歌集 新古今和歌集 4 日本の詩	・訓読によって話のあらすじを把握できるようにする。 ・作品に描かれた人生観を考える。 ・軍記物語の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・音読によって独特のリズムをとらえる。 ・それぞれの歌集の独自のリズムや表現の美しさを味わい、特徴を理解する。 ・日本文学としての漢詩を読み味わう。		
観点別 評価	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
	古典を読む力を身に付け、作品について自ら考察するとともに、我が国の文化の特質や中国の文化との関係について理解を深めようとしている。			古典を読んで、内容及び思想や感情を、構成や展開に即して捉え、ものの見方・感じ方・考え方を豊かにしようとしている。	古典の理解に役立てるため、語句の意味、用法、文の構造、文法、音声、表記等を理解し、知識を身に付けている。
備考	3つの観点に基づき、学期ごとに100点法で評価し、学年末には各学期の評価を平均し総合的に評価する。				

教科	国語	科目	古典B	単位数	3
学年	2年	類型	商業科		
教科書(出版社)	高等学校標準古典B 改訂版(第一学習社)				
副教材(出版社)	高等学校 標準古典B 学習課題集 改訂版(第一学習社)				
授業の概要	1 講義形式だけでなく、ペアワークやグループワークなども取り入れながら、基礎知識の定着と読解の深化を図る。 2 古文単語や文法などの小テストを適宜行う。				
授業の目標	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広げ、古典についての理解や関心を深めることによって、人生を豊かにする態度を育てる。				
年間 学習 計画	学習内容(単元・項目)		学習目標		
	1 学期	1 説話 古今著聞集 ・小式部内侍が大江山の歌のこと 2 故事・寓話 ・画竜点睛 朝三暮四 3 物語(一) 竹取物語 ・かぐや姫の昇天 4 古代の史話 ・褒姒大笑 5 随筆(一) 徒然草 ・相模守時頼の母は	・話の展開を理解し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・漢文訓読上のきまりを正しく理解し、繰り返し音読する。 ・故事成語の由来を正しく理解する。 ・敬語表現を理解し、作り物語の原点について考える。 ・作り物語の世界に触れ、想像しながら読み味わう。 ・古代中国の為政者の理想像について考える。 ・話題となる人物に対する作者の評価がどのようなものか読み取る。		
	2 学期	1 随筆(二) 枕草子 ・すさまじきもの ・中納言参り給ひて 2 項羽と劉邦 ・剣の舞 ・樊噲、頭髮上指す 3 日記 更級日記 ・門出 源氏の五十余巻 4 項羽と劉邦 ・四面楚歌 時利あらず 項王の最期 5 諸家の思想 ・論語 孟子 韓非子	・類集的章段や日記的章段に触れ、清少納言独自のものの感じ方、考え方について考察する。 ・敬語の用法に注意し、登場人物の関係を正確につかむ。 ・長文読解の力を身に付け、登場人物の心理を的確に読み取る。 ・語句の意味を正しくとらえて口語訳し、文脈を理解する。 ・作者の心理と行動を読み取る。 ・登場人物の動きと心理を的確に読み取る。 ・歴史を動かす力は何であるかを考える。 ・儒家、法家の思想に触れ、その概要を理解する。		
	3 学期	1 不思議な世界 ・新死鬼 2 物語(二) 平家物語 ・能登殿の最期 3 和歌 ・万葉集 ・古今和歌集 新古今和歌集 4 日本の詩	・訓読によって話のあらすじを把握できるようにする。 ・作品に描かれた人生観を考える。 ・軍記物語の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・音読によって独特のリズムをとらえる。 ・それぞれの歌集の独自のリズムや表現の美しさを味わい、特徴を理解する。 ・日本文学としての漢詩を読み味わう。		
観点別 評価	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
	古典を読む力を身に付け、作品について自ら考察するとともに、我が国の文化の特質や中国の文化との関係について理解を深めようとしている。			古典を読んで、内容及び思想や感情を、構成や展開に即して捉え、ものの見方・感じ方・考え方を豊かにしようとしている。	古典の理解に役立てるため、語句の意味、用法、文の構造、文法、音声、表記等を理解し、知識を身に付けている。
備考	3つの観点に基づき、学期ごとに100点法で評価し、学年末には各学期の評価を平均し総合的に評価する。				